



gallery *E&M* nishiazabu presents
monochrome III
 ローライフレックス・スクエアフォーマットの世界

主催：Gallery E&M nishiazabu
 期間：2010年12月22日（水）～2011年1月23日（日）
 （月・火曜日休館、12月27日～1月10日は冬休み）
 時間：12:00～19:00（入場無料）
 住所：東京都港区西麻布 4-17-10
 電話：03-3407-5075
 HP：http://www.takeuchi-studio.jp/gallery_em

■渋谷から
 東急文化会館前バスターミナル
 都バス【都01】
 2停留所目 南青山7丁目下車

■広尾から
 地下鉄日比谷線広尾駅下車
 西麻布口より徒歩8分



ギャラリー *E&M* 西麻布
 gallery *E&M* nishiazabu
 〒106-0031 東京都港区西麻布4-17-10
 TEL03-3407-5075 FAX03-3407-5180
http://www.takeuchi-studio.jp/gallery_em

企画展内容
 三回目を迎えたモノクローム展、今回はローライフレックスのスクエアフォーマットの世界をお届けします。

1960年代、リチャード・アベドンやアービング・ペンがモード雑誌に発表していたモノクロームの写真はローライフレックスで撮られた物が多い。圧倒的な解像力と存在感は写真家による物が大きいもののローライならではの表現方法です。空気感まで伝え、写真にしようとする力をローライは持っています。数値ばかりを追い求めた現代のレンズには無い、言葉では伝えきれない何かがあるローライにはあります。

展示作家
 木津康夫、杉山 守、逢川 清、永嶋勝美、ハービー・山口、広川泰士、藤井英男、他 15名のそんな魅力に取り付かれた写真家のオリジナルプリントを展示します。